

伊奈武鑑根元記
下上
全

リ 5
6480



門 5
6480
卷

長持田 大塚 大塚
25.12.5
茶

伊奈武鑑根元記 上卷



信州伊奈郡民俗三曰上伊奈中伊奈下伊奈三郡ト云是誤ッ一
ナリ往古志賀郡ト云中波野郡ト云此時天龍川度々満水ニ難
ニ及依々天亀ノ頃ヨリ伊奈郡ト改有ニル三郡ト云ハ三ツノ名有右ノ
諷育凡伊奈一郡ト云トモ小國一國ヨリ廣シ大境ハ小野外外峠ナリ
丑寅ノ方ハ諏訪有賀峠マテ寅外ノ方ハ高遠杖突峠マテ東ハ
大河原己午ノ方ハ遠山青崩峠マテ午ノ方ハ新野枳嶋午未
ノ方ハ根羽ノ先松路峠ナリ申ノ方ハ木曾鍋割マテ右ノ内伊奈郡
ナリ信州十郡ノ内ノ大郡ナリ道法ハ小野ヨリ青崩マテ三十三里
平出ヨリ新野マテ三十里有賀峠ヨリ松路峠マテ三十三里ニ伊奈ノ道法
右ノ通ナリ

一天文十八年武田晴信公諏訪ノ郡へ侍并入ノ時時侍休息ノ間侍家臣

秋山伯耆守小幡山城守馬場民部少輔右三頭一勢都合普
騎ニテ伊奈郡へ入中澤ノ城へ取掛候得共城主中津丹後
不從切腹致シハハ城ヲ取中津城代トシテ山孫孫三郎言見
通り入谷へ入市瀬帯カ早速傳味方波ハ高遠ノ城へ討入
ルハ保科彈正忠降參傳味方申上ハ右降參ノ二人ヲ伴ヒ
諫訪ニ歸リハ伊奈郡ニテ信玄公ハ傳味方始ナリ

一弘治ニ辰年武田信玄伊奈郡ニ討入有之侍大將ハ馬場
民部少輔淺利式部少輔内孫修理亮原隼人山縣孫三郎
兵未秋山伯耆守仁科伯後守右頭其勢凡一万二千余騎伊奈
郡ハ傳井入高遠ノ城ニ傳休息ニ成直所降參ニ来ルベキト廻文
ヲ出シハハ共降參ニ来ル者無ク故信玄ハ腹立有ク殿爲大和
ヲ始トシテ水口民アサ捕松嵩豊後守伊奈郡新左衛門官田左近三

黒河内隼人小田切入道父子右八人石捕狐山鳥ニテ磔ニテ傳成放磔
依リ伊奈部先方衆何モ早速傳味方ヤルナリ

一天正十年年織田城ニ助信忠公伊奈郡ハ傳討入有之ハ傳古
河尻肥後守赤勝藏長一團平八郎家忠其勢二万八千余騎
ニテ伊奈郡下條ヨリ攻入悉ク傳手ニ入ル同年信長公傳檢地
永錢ヲ直シ石ト成ル寺領共ニ傳政ナリ

一文祿三年年伊奈郡何茂村分ケ有之ハ家康公傳差図ヲ以
京極修理大夫高知管沼大膳正定利傳奉行ナリ
一慶長十八年傳國繪図青表紙傳檢地家康公傳差図ヲ以
大久保七郎右衛門管沼大膳正傳奉行ナリ同八年年
家康公傳差図ヲ以家臣朝日壽永齋伊奈郡
傳朱印有之ハ傳朱印納ル右傳朱印十四石ニ紙ニ傳朱印附ノ訣

一	高四石	殿嶋	八幡領
一	同三石	木下	南宮領
一	同寺石		明神領
一	同五石		養臺寺
一	同三石	大出	嶺頭院
一	同五斗	大家村	妙善寺
一	同五斗	羽廣	明神領
一	同五石	小野	仲善寺
一	同拾石		矢彦明神
一	同三石	飯田	玉川寺
一	同六石	飯田	長久寺
一	同三石	市田	松源寺
一	同三石	市田印十四石内	高 三石
一	同三石	十四石内	八幡領
一	同拾石		明神領
一	同五斗	四石内	日輪寺
一	同三石		明青寺
一	同六拾石	上穂	長福寺
一	同二十石	本郷	光善寺
一	同壹石	四嶋	西岸寺
一	同五石	西岸寺高内	八幡領
一	同壹石		瑞應寺
一	同壹石		八幡領

一	同二石	市田	安粮寺
一	同二石	七久三内角	龍門寺
一	同二石	知久	臭禪寺
一	同拾石	修田	八幡領
一	同三石	久末	長清寺
一	同三石	久末	光明寺
一	同拾石	座光寺	耕雲寺
一	同廿五石	大島山	瑠璃寺
一	同五石	七久三内角	龍岳寺
一	同五石		八幡領
一	同三石		正法寺
一	同五石		淨泉寺
一	同三石		八幡領
一	同三石		明神領
一	同廿石	飯田	大雄寺
一	同三拾石	川路	開善寺
一	同六石	飯田	善勝寺
一	同拾石	別官白山寺	白山権現
一	同五石	座光寺	如來寺
一	同四石	大嶋	八幡領
一	同四石	新井	長光寺
一	同四石		林渡院
一	同拾石	下上	八幡領
一	同五石	新寺	二善神領
一	同三石		八幡領

- 一曰拾石 新野 瑞光寺 一曰三石 明神領
- 一曰拾石 新野 新野明神 一曰拾石 下奈原 関昌寺
- 一曰拾三石 南山 淨岳寺 一曰拾石 際田寺
- 一曰三石 南山 粮安寺 一曰七拾石 伊奈原 大元明王

伊奈郡 序朱印附別當文永寺

笠原ノ庄高遠神山城左ノ通也

一元曆元年平清盛當所住人笠原平藏法取立テ高遠ノ城主ト成ル高八百貫文ヲ領ス神山ノ城ト云

改国兄弟元祖笠原平五頼丞二同平六頼親寺死

- 三 同九工門進頼清
- 四 同大和守政清
- 五 同九馬介正清
- 六 同左衛門頼保

應永元年岩松ノ城立中條左近進同中勢女浦政丞同兵庫氏

頼直小河内新左工門改国市瀬隼人正

一應永廿八年且利義満公ニ背キ改易ト成ル此時ニ鎌倉法料所代官山口兵部同新左馬支配ナリ同彈正忠正直

一天文十八年甲州ノ味方天文十八年ヨリ保料氏 百廿騎ノ大将ナリ

仁科佑後与義晴 同太郎義盛

一弘治二年秋山伯耆与武田家臣直義

一曰三年ヨリ八千貫領ス

伊奈四郎勝頼 武田信玄ノ四男ナリ

一元龜元年ヨリ八千貫領ス

細川五郎事 仁科五郎信盛 勝頼ノ弟ナリ仁科家ヲ立ル

一曰年ヨリ上總介信綱為後見入城ス八百貫文領ス天二十一年織田信忠ニ討負ケ信盛信綱切腹有之ナリ

一 同年ヨリ御城代

高遠ハ千八百貫ナリ石ニ直シ三万石ニ
系極修泥大丈高知

一文祿二年ヨリ飯田城主清預リ家臣岩崎左門居住ス

一 慶長五年 家康公ヨリ保科氏ハ三万石ニテ再給ル

保科肥後守正光 同肥後守正之

保科正之將軍 秀忠公ノ清未子ナリ保科氏ニ養子トナル

一 寛永二十年羽及山形ノ城ニ二万三千石ニテ清所替アリ同年ヨリ山形

ノ城主鳥居氏三万石ニテ高遠ニ居住ス

元清和源氏ニ鳥居主膳正忠春 同兵部少捕忠常

三 同播磨守忠政

一元祿四年於江戸表馬場先争ヒテ知行有石上改易ナリ

一 同四年ヨリ松本ノ城主預リ鈴木主馬居住ス

一 同年松代城主真田伊豆守高遠領ス清檢地 三万九千石トナル

一 同年十月ヨリ内藤甚左衛門藤原清三九代孫居住ス

二 内藤丹後守清長 三 同二男若狭守清行 馬方三十石領ス

二 同土佐守長頼 三 同二男若狭守清行

内藤長板清行早世故米津同防者三男ヲ養子トス

四 内藤大和守頼郷 五 同大和守頼由

元唐元年ヨリ 神山城 應永元年ヨリ 中頃岩松城 文明三年ヨリ 甲山城ト云

後天神山ト云

郷士衆ヲ記ス高遠ニ属ス十二騎

一 狐島ニ住ス 工藤祐右衛門 拾八貫領ス

一 坂井ニ住ス 同形部女浦 三拾五貫領ス

一 千日寺ニ住ス 同祐五郎 二拾五貫領ス

一青嶋ニ住ス 同左近進

拾五斗、領ス

一上縣ニ住ス 同祐左工門

拾八斗、領ス

建久四年曾我兄弟工藤祐經ヲ討取頼朝公富士ノ裾野
大祖父伊藤ノ敵トセラレ鍾倉工生捕祐經ノ長子大防九時宗
ヲ悪ロシ依テ信州ノ城主片桐源太郎工ヲ作付狐嶋工流者ト
成シテ何モ御士衆工藤氏大坊九ノ末ナリ

一藤澤ニ住ス 大石玄番正

拾五斗、領ス

一同北原ニ住ス 小原左工門

拾八斗、領ス

一小出ニ住ス 原五九工門

貳拾斗、領ス

一野口ニ住ス 聖口甚吉

拾八斗、領ス

一松島ニ住ス 樋口彈正忠

拾拾斗、領ス

一殿島ニ住ス 樋口四郎八

拾八斗、領ス

一伊奈部ニ住ス 田中左近進

貳拾斗、領ス

天正十年清檢地ニ何茂清年貢傳改左ノ通り

一高遠町 高貳百五拾石壹斗九升

一野庭 高百八拾石貳斗八升

一笠原 高四百拾石八升九合

一白市場 高四百廿八石貳斗五升

一川午 高百七拾石三斗五升

一日影 高貳百五拾石貳斗五升

一古野 高三百石壹斗五升

一廣西 高貳百七拾石三斗八升

一狐嶋 高三百五拾石三斗八升

一上新田 高五拾八石貳斗壹升

- 一 下新田 高八拾五石三斗八升
 - 一 坂井 高百三十八石五升
 - 一 中刻 高百九拾八石三斗三升
 - 一 下条 高百五拾八石三斗
 - 一 上縣 高百拾五石八斗六升
 - 一 下縣 高百八拾三石五升
 - 一 丹筆子 高百七拾八石三斗五升
 - 一 青鳴 高百拾八石八斗
 - 一 三日町 高百七拾石四斗四升
- 右拾九ヶ村ハ慶長六年青表紙傳檢地高付ナリ
- 入谷庄高付十二ヶ村
- 一 小原 高百拾五石三斗三升

- 一 須月 高百拾三石三斗三升
 - 一 中尾 高百廿五石三斗三升
 - 一 猪沼 高百八十五石八斗五升
- 宮澤若狭 十八町 系新左衛門十五町
- 一 卯津木 高百七拾五石三斗九升
 - 一 菰口 高百拾三石三斗五升
 - 一 山室 高百五拾三石三斗八升
 - 一 杉宮 高百七拾八石三斗五升
 - 一 志帰良 高百廿三石三斗三升
 - 一 市瀬 高百三拾五石三斗八升
- 此所ニ遠ニ城主中勢少輔政丞ニ男居城高百廿五町
- 領ニ高寺本家ニ屬ス

一 應永十年ヨリ分知

^元市瀬兵庫頭正保

^二市瀬但る正保

^三同帯刀正久

^四同帯刀久保

^五同兵庫頭正光

一天正十年織田信忠ノ為ニ高城ノ城ニテ討死

長子彌太郎
民家ニ交ル

一 忍河内ニヨリ三百七拾八石三斗五升

此所ヨリ遠城主笠原中務少捕舎弟居住ス高式百廿五斗

領ス三騎ノ将ナリ在名ヲ家名トス

一 應永三年ヨリ忍河内新九工門正国 同四郎左工門國時

^三同新左工門晴保

^四同兵部少捕正成

^五同集人正政信

弘治二年信玄公時成敗ニ成ル

一 溝口 言三百五拾六石三斗五升

此所ニ保料彈正忠正直住ス言式百廿五斗

水口民部 正清 弘治二年信玄公時成敗ノ人数ナリ

小野ノ庄

一 芦澤 高三百七拾石式斗五升

一 平出町 言七百三拾式石三斗五升

一 下平出 高三百五拾石式斗

一 羽場村 言式百五拾三石八斗

一 扇浜 高式百八拾石式斗五升

一 上島 言四百廿石三斗五升

一 横川 高式百五石壹斗五升

一 南水村 言式百八拾石壹升

一 佐々子 高三百廿五石八斗

一 島田 言三百五十五石六斗

- 一 兵善 高百五拾石三斗三升
 - 一 門前 高百五拾石九斗
 - 一 今井 高百三拾石二斗
 - 一 樋口 高四石廿石五斗三升
 - 一 赤羽根 高百五拾石五斗
 - 一 下山村 高三百五拾石八斗五升
 - 一 宮木 高百石六拾石五升
 - 一 宮所 高百石三拾石五斗五升
 - 一 七菟 高百石拾石八斗
 - 一 小大出 高百石拾石三斗五升
- 右ハ青表紙片檢地高十リ
- 小野、四ヶ村是ニ在ス
- 箕輪庄

一 松島 高千四百五拾石八斗六升

此所海野、介流矢島肥後守信清五代孫居住ス高五拾石、
領ス四代同国矢嶋庄領ス

一 天文二年ヨリ居住ス

松嶋肥前守信清、同豊後守信久

弘治二年氏田ノ為ニ没收ス

信久弟松島源五郎ニ名跡ヲ信玄公ヨリ給リ天三十年浪人トナル

一 松島町 坂井村 小村 右ハ松島ノ枝村ナリ三ヶ村ニ分ル

一 久保 高四百拾石五斗五升

一 福鴻 高百三拾石五斗五升

一 下子良 高四百廿石五斗三升

- 一 長忠 高八拾七石三斗七升
- 一 小河内 高廿五石或斗三升 十有田ヶ村ニ分ル
- 一 福子 高廿七拾五石九斗四升 上割下割ニ分村ニ分ル
- 一 木下 高七百廿五石或斗五升
- 一 三日町 高七百廿二石或斗四升
- 一 神子柴 高或百七拾石或斗五升
- 一 大和泉 高或拾石七斗七升
- 一 田畑 高或百八拾石或斗五升
- 一 源尻 高或百九拾八石九斗七升
- 一 八乙女 高或百石或斗五升
- 一 大蓋 高或拾石七斗五升
- 一 下古田 高或百三拾九石八斗三升

- 一 富田 高或百三拾八石或斗三升
 - 一 上古田 高或百三拾九石八斗七升
 - 一 中坪 高或百七拾石三斗九升
 - 一 羽廣 高或百八拾石三斗五升
 - 一 野口 高或百拾九石五斗八升
 - 一 与地 高或百八拾石六斗五升
 - 一 八小千 高或百四石九斗五升
 - 一 中条 高或百八拾石六斗七升
- 此所言遠領之笠原中勢少輔弟高五拾石ヲ領シ居住ス
 則在名ヲ家名トス
- 一 應永十八年ヨリ居住

中条左近進信政 同新左衛門信廣

三 同左馬亮 信辰 四 同左近進 信平

中条八ノ千領ス永百七拾五領ス當石四百八拾六石六斗五升

一天正十年高遠城ニ籠リ信忠ノ勢ト戦討死ス 長子ハ五郎 氏家ニ交ル

一 小野 高千六百七拾石五斗五升 南北小野右ノ高ノ内ナリ

一 飯沼 右ノ高ノ内ナリ 下殿村日換地ナリ

一 殿村 高七百四石九斗八升 下殿村日換地ナリ

一 藤澤 高千貳百五拾石五斗五升 六ヶ村日換地ナリ

一 片倉 荒町 八日市場 北原 右上野國群ヲ郡小系字ナリ北原宗亦居住

一 栗木田 御堂垣外

一 南福地 高三百七拾石三斗五升

一 中澤庄 廿五ヶ村

一 北福地 高三百五拾三石八斗

一 丹金 高三百八十五石七斗八升

一 今井 高四百廿石三斗三升

一 甲斐沼 高三百五拾石三斗八升

一 山田 高廿八石三斗五升

一 山荷地 高四百五拾石八斗八升

一 法光寺 高貳百五拾石三升

一 大昌倉 高四百五拾石八斗七升

一 日山 高五拾三石八斗

一 城田 高百五拾石六斗七升

一 栗林 高貳百三拾石五斗

一 伊奈村 高貳百十六石五斗八升

- 一 中山 高百拾五石三斗六升
 - 一 竹ノ原 高三百五拾八石五斗五升
 - 一 大久保 高四百廿八石三斗八升
 - 一 菅沼 高三百三拾石五斗八升
 - 一 柳瀬 高百五拾三石八升
 - 一 池上 高貳百五拾八石三斗五升
 - 一 上高見 高百拾五石五斗三升
 - 一 下高見 高五拾八石三斗五升
 - 一 穴山 高貳百八拾石五斗三升
- 應永三年高遠ノ城主笠原左近進頼清ニ男高三百廿五
 領ノ居住則在名ヲ以家名トス
 中澤太郎為清ヨリ十八代

- 一 櫻井 高百五拾八石九斗三升
- 此所ニ中澤但馬守ニ男高百五拾石領ス土跡ノ將ニテ居住
在名ヲ以家名トス
- 櫻井左近進重辰 同但馬守重一
 同宗女正 重平 同安藝守重久
 法心執行
- 一 甲斐沼ニまゝもか池ト云有此地ニ村一名の二羽宛奉るとして

重久踐炮ニテ男鳥の首を切切ナリ其後ニ若キ美女ノ壹
人重久ノ門ニ來ル哥ヲよみ姿をえん右の美女未レ事
度レ日昔時分斗リ來ル重久サマ、在義はレツヘレ
姿をえん歌ナリ

横井の名もいふりき甲斐の住人

あつちの池ナリ此ナリ

ちいよある度あり流あり無極彼の池小女を來るまへ
又討て見レバ那の男を首の羽がいの下小有り安藤
重久は我をて大ニ怒り彼の如し此をめてこらるる横井
の存恨めきとある事此の存恨めきと池ありあの
仲はるる事恨めきの事いといふ事ありこらるる横井
の存する人る事怒る事ありいふ事ありあの存恨めき

夫もふた又女を討て宿枕の浅きをこたノ芥萱葉の
心思とやると法をせと接てえ結除より押切を討て死
骸は在る所ありのゆふ葬りるふむむらあを極けま
為小善知職我佛人の始と法因修行小出るふ依て
法衣以絶る 慶長八年卯十一月
伊奈部領古栗氏領重吉此所ニ領ス重吉ヨリ十五代ハ
上野國片岡郡ニ居ル

- 一西伊奈部言四百五拾三石三斗八升
- 一天文三年平家ノ士栗民部大夫重吉十六代ノ孫高三百丹
ヲ領ス居住則在名ヲ以家名ト号ス
- 伊奈部大和守重友 河但馬守重成
- 同新左エ門重親 於駿ノ将ナリ

弘治二年信玄公ニ背キ礮ニ上ル依之没收ナリ

一 伊奈部所 高三百八拾石三斗五升

一新井 言四百五拾石七斗五升

一小澤 高即百三拾八石壹斗三升

一 横山 言四百石五斗三升

一 小山寺 高三百五拾三石中斗壹升

一 田中 言五百三拾石壹斗八升

一 三笠 高四百石拾三石壹斗八升

上春近ノ庄十二ヶ村後十九ヶ村ニ合ル

一 上殿寫 高四百七石三斗五升

一 下殿嶋 高即百三拾五石中斗壹升

一 中割 言即百八拾五石五升

一 唐木 言三百五拾三石五斗

永禄十年伊奈部但言二男百五拾石居任ナリ

殿嶋大和与重友 同新左衛門重國 在名ヲ実名トス

弘治二年信玄公狐嶋ニテ決成敗八人ノ内ナリ

一 古寺 高五百八拾石三斗三升 知久沼田古寺ノ枝村ナリ

一 小出 言八百九拾石五斗八升 柿原市ノ木四ヶ所枝村ナリ

一 田原 高七百八拾八石六斗三升 言田原所取四系ノ枝村ナリ

一 天文元年相室豊後守美百五拾石又領ス宅田ニ住ス 在名ヲ実名トス

宮田左近正親房 同左馬介吉房

弘治二年信玄公狐嶋ニテ決成敗八人ノ内ナリ

一 大久保 高三百五拾石三斗中升

一 下牧 高即百五拾石八升

- 一 上牧 高三百八拾石五斗八升
- 一 官哉 高百八拾石五斗
- 一 表木 高百三拾石五斗六升
- 一 山本 高百三拾石三斗
- 一 新井住 新井左近進 十八石領不
- 一 小澤住 山口權左工門 十七石領不
- 一 上牧住 宮澤左近進 十八石領不
- 一 中割住 結木左工門 二十三石領不
- 一 官田住 赤坂源左南門 十八石領不
- 一 穴山住 坂井吉三丞 二十五石領不
- 一 菅沼住 坂井兵部備 十五石領不

郷士中澤 殿寫二層不

- 一 殿寫住 今井忠四郎 四十八石領不
- 一 今井住 今井岡右工門 三十石領不
- 天正十年、片桐地、何レモ知行傳年貢地ニ法改ナリ
- 下春近庄 十九ヶ村
- 一 上穂 高千七十九石五斗六升 下高住換地ナリ
- 曆應二年菅原、分流ニテ哉前大野城主菅沼友重ニ因リ
- 或百石領不居住
- 一 菅冠者友則 曰 左工門尉友國
- 一 曰 左工門督友一 曰 石具与 友重
- 應永五年片桐、領主中摺卜戰討員知行片桐領卜成ルニ男
- 片桐源次郎為清或百石領不居住
- 一 片桐源次郎政清 曰 彈正忠為清

曰土佐守信晴

曰兵庫頭為重

上穗伊豆守重清

五名ノ家名トス

弘治二年甲外ハ属シ往古清和源氏武田ト同姓ノ士故清員
負ナリ曰中勢少輔主勝十騎ノ将ナリ

天正十年信忠討入ノ時大嶺城ニテ討死家没收ナリ長子
八郎九郎浪人ト成民家ニ交ル

一赤須

高千四百八拾九石式并ニテ村ニ多ル下赤須少所谷割

赤須三郎正利

曰新九郎清則

曰帶刀正則

曰隼人正清玄

天正十年大嶺城ニテ討死十騎将ナリ家没收ス

一田切

高九百口於石即斗九并ニテ村ニ多ル小河原南割中平

應永二年橋久流正之三男高四百貫領ス居住

田切大和守正久

曰左衛門作久信

曰大和守正吉

曰左近入道勝則

曰大和守正則

曰帶刀正勝

弘治二年信玄公ニ背キ帶刀父子狐嵩ニテ碓氷ニ揚ル八人ノ内ナリ
中平左近進郷士田切入道勝則ノ三男ナリ

一飯嵩

高千三百三拾三石式斗九并ニテ村ニ多ル岩石曾根

壽永元年片桐城主片桐兵庫頭為行二男高四百貫領ス
十騎将ナリ

片桐次郎太史為綱

曰上總介重綱

曰石見守重辰

曰源太郎源重則

曰大和守為房

曰民部少輔重家

曰大和守為主

曰若狭守為則

上杉家ヨリ粮子ナリ在名ヲ家名トス

飯嵩若狭守為宗 同小太郎為平

同若狭守重成 同形部女輔為則

天正十年信長、為ニ高遠ニテ討死長子傳兵衛清吉、
此長子飯嶋辰千代、慶長六年、家康公ニ召出本領
祖父名跡無相違給ル、慶長十八年口論ニヨリテ知行
召上、宰人トナル

一石曾根 高五百四於三石九斗八升 小泉五郎左門住ス

弘治二年ヨリ甲兵家臣居住ス 同新左エ門高三百貫領ス
天正十年信長、傳付入、時高遠ニテ討死、廿騎ノ将ナリ

一岩間兵部女輔 同隼人正

同中務女輔 同左近進重一

三 同源太郎重友 六 同小太郎為遠

一 天正十年大嵩ノ城ニテ討死長子源太郎民家ニ交ル
一本郷 高五百八於九石三斗三升

古飯嵩ナリ文祿三年石曾根村ニ飯嵩ヲ引千石ニ於テ石武斗九升

御士何ニ飯嵩ニ属ス

一 上穂ニ住ス 下平外記 十八貫領ス

一 同所ニ住ス 宮下但馬 十二貫領ス

一 田切ニ住ス 和田金丸工門 十五貫領ス

一 中平ニ住ス 中平兵部 廿三貫領ス

一 飯嵩住ス 飯嵩丹後 二十貫領ス

一 同所ニ住ス 平澤左近 十八貫領ス

一 同所ニ住ス 林 三左エ門 十五貫領ス

天正十年清檢地何モ知行其年貢地ニ清改ナリ

清和源氏片桐郷ヲ領ス高千貫ナリ

前奥州大和守陸奥守從三位上六孫王經基ノ孫左エ門尉

從五位下行兼下野守源滿政左門督從五位下行兼山城守

源政經右馬頭從五位下行兼大和守源為經右馬之丞

從三位侍從兼信濃守伊奈真人為公二男片桐源八郎

為基舟山元祖長治元年

一片桐町 高八百弍石六斗三升 田嶋片桐町同檢地ナリ

御士西村三左エ門廿三貫領ス片桐ニ承ス

文祿三年片桐町田嶋平ヨリ西原ニ上ル片桐ノ地ノ内ナリ

一上片桐 高六百四拾九石九斗三升 北五ノ領ス片桐ノ屬ス

御士片桐壺尾門

宮下帯カ

十八貫餘ス

南嶋昆平

廿三貫餘ス

竹村次郎右毛

廿五貫餘ス大寄所ノ内ニ

一 齋部高廿五貫ナリ石直三百拾五石弍斗五升大嶋内ノ

寛文元年双方頼ニ依テ片桐町ノ内上片桐ニケ村ニ割ル

長治元年神峯城主清和源氏右馬進從三位下行兼信濃守

伊奈ノ真人源為公ノ二男此所千貫領ス在名ヲ以家名トス

片桐源八郎為基 同兵庫頭重行

源太郎重為世早 同源七郎為遠

同兵庫頭為行 同源太郎為泰世早

保元ノ乱片桐源次郎長清討死長子源左郎長頼朝公

石出美濃國岩村ニテ大領ヲ給ル所替有祖父為行弟片桐
小八郎大夫景重大崑名古ノ領主ニテ有之是又義平公ノ弟味方
ニ屬ス 平治ノ乱ニ白河ニテ討死景重ノ長子片桐八郎為康
頼朝公ト石出父景重ノ武印ニ依テ長清本領為康ニ給リ
片桐舟山ノ城祖父ノ本城ニ移ル

一 義和三年ヨリ居住ス

片桐小八郎為康

同 隼人正重改

同 兵庫頭為賴

同 石見守正綱

同 兵庫頭為清

同 信濃守重玄

同 中務少輔重頼

應永十年上穗ノ領主ト戰討勝本領トス

片桐丹後守為信

同 信濃守重行

同 大和守重辰

同 源太郎長辰

同 小太即長忠

同 隼人正改忠

天正十年信忠討入ノ時片桐改忠上平小瀬ニテ切腹長子
長公大崑ノ城ニ籠リ討死ス舟山没収ス片桐領永錢高八百
貫文ナリ石ニ直シ式千三百五於八石ナリ長子片桐源次郎民家ニ交

一 前澤

高六百七十七石三斗八升

一 小和田

高四百廿七石六斗六升

大崑領ナリ

新井 隱岐

大崑ノ領ス大崑ニ屬ス

齋藤 六郎左門

十五貫石ノ右曰

慶長六年飯田ノ領主小笠原兵部大輔家臣居住

春日 淡路守

五百石

一 七久保

高五百八拾八石七斗七升

新井万之助
上沼左近亮

十三貫領ノ片桐ニ属ス
廿貫領ノ古田

一 高遠原 新高四百石 寛永元年満水ニテ田嶋ヨリ上ル
小平 高百五拾石ニ斗八俵 大岩ノ内片桐濟ヨリ令比

一 菅嶋 下平治部少捕 廿五貫領ス大岩郷士頭ナリ
高三百三拾七石ニ斗五俵 永言四百六拾五石ノ所ナリ

米山倉之助 十五貫領ス片桐ニ属ス
文安三年片桐ノ城主片桐源太郎長信ニ男居住

片桐安蔭守久信 高百石ヲ世傳ス李家ニ属ス
信正 正保

天正十年信忠清井ノ入ノ時大嵩ニテ討死ニ騎ノ将ナリ長子十代松
小次郎民家ニ交ル

麻塩ノ庄

一大草 高千四百三拾六石九斗八俵

四百六十七石四斗七俵 日曾利矢田 飯沼 飯田高ナリ

三百六十石四斗七俵 間柱 益生ノ言ニ
六百七十石二斗七俵 下平ノ系主地 志摩久 素原言ナリ

天文三年中澤ノ城主丹後守重則ノ弟高百石ヲ領ス
中沼小源治圭光居住ス左名ヲ家名トス

井上淡路守光保 弘治二年甲州ニ味方ス
同 淡路守国光 天正十年信忠公ニ従

慶長六年 家康公ノ 上意ヲ請 五千石ニテ今田ニ所替
下平兵部少捕 十八貫領ス井上氏ニ属ス

一 麻塩 宅領 宅領 宅領 宅領 宅領 宅領 宅領 宅領 宅領 宅領
高百石ヲ世傳ス斗五俵 山中ニ塩水ナルナリ

大河原庄

- 一 大河原 高九百九拾五石五升 遠山土作守元渡而
- 一 福與 言三百三拾五石三斗五升 部奈福子言ノ内ナリ

福子因幡

十八貫領ノ大岩カ十詰ノ内ナリ

供野庄 六ヶ村

- 一 供野 高十六拾五石式斗三升 福子供野言ノ内分村

- 一 秋野 供野高ノ内三ヶ村ニ分ル 甲州工領ス 小笠原左京大夫長清

寛元二年清和源氏新羅三郎義光五代ノ孫ニテ小笠原信濃守長頼 三百五拾五石ニ居住

小笠原源左郎長経

同 供野六郎時長

同 三郎時長

同 七羽吉 長康

同 又三郎泰行

同 七羽吉 長房

一 草

正長元年供野氏江州日野ノ下替供野西門院ノ史料

- 一 林村 言三百五拾五石九斗五升

一 士林 左近

十五貫領ス

- 一 内村 高九百五拾五石三斗五升

一 伊士 虎岩平左久

十五貫領ス

- 一 河原 高九百五拾五石七升

一 空 虎岩平左久

十五貫領ス

小川庄

- 一 小川 高千拾五石四斗五升 此下言三百零羽吉氏在任

羽吉言芳光定

同 信濃守光清

同 伴直吉光成

同 大和守光久

天正三年長篠合戦ニ討死 十騎將ニ

一 田 高六百八拾七石六斗七升

一 伊 高四百八拾石八升

一 阿 高六百七拾石三斗五升

一 加 高六百石九斗七升

慶長六年清和源氏信濃守從三位下信兼源為公廿代孫
知久大和守賴氏長子知久乃無神宗宗落左衛門茂之
二 抱遠良池田三 家康公清馬先三 清系中上之海老
清十姓三 石出山 伊奈ノ内ニテ小知清願中上之阿當三千石
ヲ結リ 陳至ヲ建居位ノ虎岩ニ著免虎岩園を多守に後之

三百石分地 東知二千七百石 三四七郎 兼少政之

一 知久伊左衛門則直 二 田内茂介 直政

三 田伊左衛門直由 四 田監物 頼久

一 同 常力 頼直 喜子ナリ

男子無之 家臣知久丹次郎長子先祖常主ナリ 室曆年中知久
監物息女ニ入 尊知常力頼子

一 知久 庄 七ヶ村 神宗ノ城後付山城 三千石 庄ノ下 十五石ノ下ナリ

一 知久平 高五百六拾七石五斗

永保二年清和源氏右馬亮從三位下行兼信濃守伊奈真人
源為公初神宗ニ居住依之 伊奈ノ郡代ヲ承リ依テ伊奈
真人ト名乗 三千貫領ス

二 伊奈真人為公 三 同 形部 左衛門 為清

四 同 四郎 左衛門 信清 五 同 土佐守 信清

六 知久左衛門 信直 七 左名知久ヲ名乗ル

八 同 四郎 左衛門 文行 九 同 四郎 左衛門 貞阿

八 曰 四郎左馬 祐起
 九 曰 四郎左馬 祐起
 十 曰 土作守 奇山
 十一 曰 土作守 祐久
 十二 曰 大量
 十三 曰 民部少輔 元仲
 十四 曰 民部少輔 易仲
 十五 曰 仙耀
 十六 曰 四郎左馬 頼玄
 十七 曰 四郎左馬 頼玄
 十八 曰 大和守 頼光
 十九 曰 四郎左馬 頼康
 廿 曰 大和守 頼氏
 元龜二年甲外若神子ニテ小條氏改テ追拂武功ニ依テ信玄ヨリ
 高三千貫給リ天正年中清揆地知久領高以万八千石三斗
 八并ナリ文祿三年京都ヨリ落人行良親王ヲ抱テ秀吉ヨ
 市咎メテ受神峯没收知久大和守頼氏駿府ニ立退
 一 柏原 高千石六拾石六斗八升 小室々柏原ニテ内ナリ

一 南原 高三百八拾八石九斗三升
 一 恋久保 柏原高ノ内ナリ
 一 虎岩 高千石八石三斗三升 飛呂虎岩ノ内ナリ
 建久五年知久四郎左エ門貞信ニ男斗百五拾石ニテ虎岩ノ内小井ニ
 住居三騎ノ将ナリ
 元 小林行阿入道心齋 二 固 山城守心源
 三 同 河内守 富心 四 同 森 富
 五 同 賀 仲 如 六 同 玄番丞頼春
 七 同 大藏少捕改春 八 同 宮内少捕奇心
 九 同 玄番正頼春 十 同 玄番正頼貞
 高三百石ノ文領ス十騎ノ将ナリ
 文祿三年神峯落去ノ時從テ関東エ退ク

猿鼻ノ城元龜三年ヨリ大城ト云

郷戸庄

一古町

高四百九拾八石八斗七升 古町大嵩ナリ

文祿三年山手ハ上ル

元曆二年片桐城主片桐石見守正綱ノ二男居住ス高三百貫文ノ

片桐源八郎宗綱 大嵩治部大捕綱茂

大嵩丹波守為綱 同河内守 為宗

同讚岐守為元 同左之助 為清

弘治二年信玄公清味方工付同沼城ニ移本城諏訪高嶋

比邊ヶ行切腹信玄公清家長日向大和守居住大嶋新助晴元

天正十年織田信忠傳討入ノ時大嵩折助高嶋工外行切腹

新助高六百拾貳石三斗八升

一名子不村 高四百九拾六石七斗

元永二年片桐城主片桐源七郎為遠ニ男居住右大嵩ニ

片桐八郎左之丞 宗重 名子大嵩ヲ領ス

同 小八郎 為安

治承三年頼朝公ニ出仕父宗重ノ武功ニ依テ祖父奉領

為安ニ給リ依テ片桐舟山ノ城工移ル

應永廿八年片桐小八郎為安六代孫片桐中繁サ捕ニ男

百五拾五ノ領ス名子ニ居住 在名ヲ家苗トス

名古左近亮為國 同 帶 刀主明

同彈正忠玄季 同 石見守重一

同新左衛門主國 同 新 介為清

同新左工門主明 同 新三郎為玄

天正十年信忠公傳書入ノ時大島城ニ討死三騎ノ將ナリ
長子新三郎民家ニ交ル

一名子枝村 高三百八石八斗三升 原町桑堂柏原高ノ内ナリ

仰士大島太右衛門

十八石ノ領ス

岩崎日向正

十五石ノ領ス

矢澤左近亮

十五石ノ領ス

宅崎速右衛門

廿二石ノ領ス

大島四郎右衛門

拾六石ノ領ス

右ハ大島々々ノ老孫ノ仰士何モ大島ノ城ニ与カナリ

天正十年は換地傳改傳年貢地ト成ル

一山吹 高四百七拾七石八斗

慶長二年松岡右衛門頭座光寺三郎右衛門等家ヲ失ヒ

家康公座光寺氏ノ親類ヲ傳尋ノ處松岡ノ仲間勘當ヲ
受次郎介ト申者座光寺氏ノ血筋ト申上天正は換地山吹
千三百拾三石給リ領シ屋敷ヲ建ル百姓ノワル口ニ俄次郎介
出雲守傳出ナリト申ル信濃傳記ニ山吹ヲ座光寺三郎右衛門
末ナリト有大成相違ナリ元ハ座光寺村ノ百姓ナリ松岡ノ仲間
奉公ナリ傳勘當受座光寺哉後書ト伝リ内方家ヲ没
ナリ

座光寺治郎右衛門ト改ル座光寺勘左衛門

入道喜慶後勘左衛門ト云三百石ノ地ニ千石ヲ領ス

座光寺喜玄清 同 喜玄末入道

同勘左衛門後主税 同 頼母 無子娘ナリ

宝曆年中飯田城主堀大和守房養子ナリ

同喜兵衛

同主水正

他石守右衛門兵衛親子

一上平

高百五拾石七斗三升

一駒場

高三百廿石七斗九升

一龍口

高三百拾石七斗五升

應永廿五年松岡家臣居住左名ヲ以テ家名トス

龍口藤三郎

同豊後

同新次郎

同弥四郎

文祿二年逆心ヲ企妻女ニ教サレ、ナリ

一出原

高百七拾石七斗三升

一吉田

高千七拾九石七斗五升 松岡家臣吉田源正住

一大崑山

吉田高ノ内ナリ、ナシ吉田元貞十八貫領ス

一市田 高千七百拾石七斗 山吹四ヶ村ハ市田高ノ内ナリ

慶長六年傳檢地十ヶ村高ノ内ナリ

應永二年安倍貞任ノ末流高千貫文領ス居住

松岡平六安倍貞列 松岡出雲守貞利

同形部少輔貞國 同新左エ門貞玄

弘治二年甲辰工傳味方信玄ヨリ二十貫給リ合三十貫領ス

同右清門督貞國 七拾石持ナリ

慶長二年逆心ニテ座光寺氏ト口論ヲ仕出シ兩人切死松岡領

三十貫石ニ直シ八百拾三石八斗八升

一座光寺 高八百七拾五石三斗八升 古外沼ト云善光寺此方座光寺

正長元年清和源氏片桐丹後守為信ノ三男

高三百七拾石領ス 左名ヲ家名トス 三拾石將ナリ

座光寺河内守重友 同隼人正清信
同石見守重玄 同左近正改吉
同我後守改玄 是迄知久氏工從

弘治二年甲辰工味方申上高千貫領ス三十騎將ナリ
慶長二年松岡逆心ニ付諫シ口論ノ上切死

宮崎市田高ノ内ナリ座光寺領南石貳千七百五拾石ト成ル
一永和四年藤原久流高廿貫領ス居住

- 一 生国日向宮崎
- 二 宮崎周防守藤原時行 同 弥五郎時直
- 三 同 弥兵衛 秀国 同 孫次郎時久
- 四 同 孫花 吉園 同 孫八郎吉輝
- 五 同 六郎 義久 同 重太夫秀成
- 六 同 日向守 改明 十騎ノ將ナリ

天正十年信忠ニ攻ラレ浪人トナル

安長二年 家康公工在石出所奉行ナス

一下黒田 高八百五拾石八斗三升

御士齊藤善次郎 十五貫領ス

右何茂飯田工所スナリ北原但馬十二丹小京正仙十二丹領ス

一上黒田下黒田高ノ内ナリ

御士 秀坂若狭 廿三貫領ス

御士 篠田重質 十七貫領ス

一別府 高六百五拾三石三斗五升 高ノ内掩地ナリ

一飯沼 高千七百九石八斗五升

御士吉川主馬亮 十八貫領ス

右御士七人ノ高百拾貫石三直ニ四百七拾五石三斗

天正十年永直シ傳檢地ニ何レ茂知行傳年貢地ニ清改永綫直シ石高極ラス處ニ依テ高相違有リ

一牛牧

市田言ノ内ニ松岡家臣牛牧次郎左支居住

一原町

市田言ノ内ニ松岡家臣牛牧次郎左支居住
高百八拾石六斗三升 文祿三年下市田ヨリ上

一上飯田

高千三百五拾石五斗

一飯田所

高四百廿三石貳斗

往古地頭無之治リ不申ニ身百姓方ヨリ鎌倉ニ傳預ル上以得ハ義經公ノ法家臣鎌倉ノ古人成ルニ命ヲ介ケ飯田ノ地頭ニ在シ生國土作国坂西ノ住人近藤六郎周家龍田左近進行左門吉主馬介右三人伴飯田傳附有之飯田ノヨリ藤助左他源藏三人ノ土民法迎ニ鎌倉ト下リ法同道申上飯田ノ城ヲ建ル長姫城ト云高千貫領ス文治三年ヨリ居住ス坂西信濃守周家

十改建久五年飯田へ城ヲ川

二 曰 淡路守政家

曰 長門守親家 五十高ノ将ナリ

建保元年真言ノ行者屋敷ト城ヲ引飯田城ト云真言ノ行者ハ城古屋敷ノ跡ニ居住地頭ヨリ市前受取

四 坂西淡路守親正

五 曰 兵庫頭親常

六 曰 若狭守家長

七 曰 伊豫守長家

八 曰 但馬守親家

九 曰 帯刀 長國

十 曰 周幡守親保

十一 曰 一色淳正忠家久

正和元年櫻山ノ城主小笠原信濃守知行而松川南ノ北方高千貫文切取都合貳千弍百文領ス

十二 一色内苑介親久

十三 坂西淡路守親

十四 曰 織部守補定久

十五 曰 八郎九郎定利

同左湯門督親一 同織部進經定

一元龜二年信玄公ノ雅ニ依テ没收小田原ニ立退小茶ノ便リ扶助ヲ
受ル飯田工伊奈ノ郡代トシテ秋山伯耆守ヲ甲州ヨリモス
天正元年秋山岩村工移ル小茶氏改取持ニ依テ坂西織部進
經定再ニ飯田ニ歸リ居住ス六十騎ノ將ナリ

天正十年信忠傳討入ノ時織部進不叶シテ二月十五日ニ城ヲ
完キ西山市瀨ニテ切腹ナリ飯田領高二千貫石ニ直シ四千
五百十五石ナリ

同年 家康公清家臣城代トシテ菅沼大膳正定利
一天正十八年ヨリ大膳大夫大江廣元十三代孫入城ナリ

毛利河内守秀頼 八万石領ス
永祿三年新介ト云時今川義元ヲ討取ル文祿三年飯田ニ病死

文祿二年佐々木四郎左門高綱十四代孫京極長門守高吉
長子高遠ヨリ飯田工入城

京極修理大夫高知 十二万石領ス
慶長六年清和源氏小笠原大膳大夫長清九代孫松本ノ
領主小笠原右近大夫貞慶信濃守改長ノ長子入城後松本
工所替

小笠原兵部大夫秀政 五万石領ス
慶長十九年七万石ニテ松本工移リ元和元年大坂ニテ討死
同年ヨリ飯田領清料下ト成ル清代官居住

高坂十郎右門支配 箕瀨ニ傳陣屋建
一元和三年淡路國治元領主服坂中勢少捕安治長子伊豫
國大洲領主飯田工入城ナリ 藤原姓ナリ

服坂淡路守安元

五万五千石

同 六右工門尉安綱 同 甚兵衛安道

安綱安道傳父子早世未夕淡路守存生ニテ有之堀田氏侍從紀正盛二男養子ト成ル

服坂中務少輔安改 播外龍野工所替

一 寛文十二年堀太郎左工門秀重六代孫下野國烏山城主人城之

堀美他守親昌 二万石領ス

同 周防守親貞 男子無シ近藤織部養子トス

同 美他守親常 同 石見守親賢

同 若狭守親庸 二男 同 大和守親藏

同 大和守親長

伊奈武鑑根元記 下卷

飯田松川ヨリ南伊賀良庄

一 山村 高千三百拾三名八斗八升 北方山村言ノ内ナリ

長熊山村高ノ内ナリ文祿三年御士政帳二名子熊ト有リ

建治二年供野領小笠原源太長經ノ三男言千二百貫領ス

榎山二居住ス 櫻山城

元伊奈六郎二男 小笠原九事門長光 同 信濃守長臣

正和年中一色禪正ト戦負高式百貫領ス飯田工属ス

同 形部長春 同 左近進長縁

同 帶刀長玄 同 親弥 長宗

天正十年信忠ニ追立ラレ浪人トナル行素不知ナリ

建武二年清和源氏小笠原左京大夫長清十一代ノ孫

大膳大夫源政康二男高八千貫領ス松尾鈴岡ノ城ニ住

一 小笠原信濃守信貴 二 同左末門作家去

三 同伊奈六郎 元康 四 日掃部亮信嶺

天正十年信忠ハ降参被家来居城田中ハ立退松尾ノ城ニ
兵部為城代居住松尾領八千貫石ニ直シ武千四百四十七石
三斗慶長六年飯田領ニ附松尾掃部亮一子無之故酒井
左末門尉忠次ノ二男養子

小笠原左末門佐信保 五千石領シ田中ニ居住

慶長五年武州本庄ハ所替

一 嵩田 高武千三百八斗四升

八幡町名ウ村新井
高田高

一 毛賀 高七百廿石七斗四升

一 弦科 高五百五拾九石八斗八升

弦科内

一 長野系 高武百五拾九石九斗三升

一 下原系 高三百七拾石五斗

一 上原岡 高百十八石六斗三升

一 桐林 高六百四十石四斗四升

一 時又 高百六拾石壹斗五升

一 大榎木 高七百九拾石五斗

慶長七年ヨリ小堀左近進清元 小笠原系秀政家長ナリ

一 三日市場 高四百三拾石壹斗

一 中村 高四百九石五斗

一 上川路 高武百三拾九石五斗

一 下川路 高六百八石三斗五升

一 山本 高九百廿石九斗壹升

一七么里

山本房ノ内ナリ

林源左衛門

十六貫銀ノ飯田ノ属ス

関島左近

廿一貫銀ノ右田

岡庭新介

十八貫銀ノ右田

竹村主馬

十五貫銀ノ右田

一 元正十年永銭ヲ直シ傳授地々士何茂知行清年貢法改

一 伊豆木 高千三百ニ於石斗 伊豆本ノ士ニテ村言シ

貞永三年松尾小笠原左衛門作二男 斗百廿銀ス伊豆本ニ傳授
ヲ建ル居住言式百貫領ス三孫ノ將ナリ

伊豆本美他与定一 同但馬守親利

元正十年信忠傳付入ノ時家ヲ失ヒ浪人トナリ

慶長元年松尾掃部亮茂 家康公ト云召出伊豆本ニテ

高斗百廿文給リ居住ス永銭ヲ直シ石高千石トナリ

小笠原執負 同彈正忠

同孫右エ門 小笠原執負娘子ナリ

同兵庫 知久伊左エ門ニ男ナリ

一 南伊豆木 高三百廿石七升

一 竹佐 高六百石三斗五升

一 青苗路 高千石斗五升 清川格上下ニナリ

元龜二年宅崎十左衛門二男言百廿石於貫領シ居住

宅崎以能後守忠政男子四人ナリ

元正十年為信忠浪人トナル慶長三年 家康公ノ召出四人

トモ二侍代官ニ成

宅崎左衛門左

同九郎右衛門 後三右衛門

一 三郎兵衛 四男 曰 孫右左

一 約場所 高或百三拾五石五斗

一 下約場 高或百三拾五石

宅崎孫右左 曰 三郎右衛門

曰 三右衛門

一 上中関 高或百五拾五石五斗五升

慶長十年之宅崎右郎左衛門長子 家康公に侍り出

市岡庄右工門 曰 八郎右衛門 中軍ヲ領ス

寛文十二年江戸忍田へ下替

一 下中関 高或百五拾八石七斗五升

天文三年三外西尾城主高或三百廿七石此所工入表ル

林紀仔守信芳 曰 石見守改信

慶長元年逆心ニ依テ 家康公ノ侍咎メ受没收ナリ

曰 三年宅崎日向守改昭長子熊茂ニ右ノ領地不殘

家康公ヨリ給リ中関ニ居住ス

從莅下宮崎侍前守孫系忠禱ト改居住ス

曰 織部女輔孫系忠圍 十九百石領ス

曰 隼人 孫系忠芳 養子ナリ

曰 折七郎孫系忠辰 曰 以

正徳三年酒老ニテ切腹ヲ仕損シ十日メニ死依テ没收ナリ

一 向関 高或百九拾九石五斗七升

慶長五年宅崎茂守忠長ノ子三百廿七石領ス居住

宅崎 守之素 曰 守左衛門

曰 孫左衛門 曰 清三郎

義應二年江戸表言不行跡ニ依テ領地ト石上伯父助大夫工侍護
ニ相成此跡清料所ナリ

一 小野川 高九拾五石七斗三升

一 大野 高百廿石五斗五升

一 立石 高五拾九石五斗五升

一 立石 高七百拾五石八斗五升 甲賀三郎兼房居住

下条庄

一文永八年供野領主小笠原長經ノ四男高三子丹之領スル所
居住ス則在名ヲ以家名トス

一 下條修理進長能 曰 大膳大夫長辰

二 信濃守長則 曰 左馬督長國

三 伊豆守長親 曰 介太郎長保

七 曰 彈正忠親村 八 曰 弟新八郎親久

九 曰 伊豆守親信 十 曰 兵庫頭信昌

十一 曰 伊豆守信氏

弘治二年甲外工属ス高六子貫領ス十騎ノ於ナリ

一天正十年織田信忠伊奈責ノ時伊奈先方御士木曾妻籠工

清迎ニ出ル處下条ノ家臣下条九兵衛逆心ニ依テ美濃境近

清迎ニ奉リ信忠勢川尻肥後守下条口ヨリ清案内中下条

ニ清供致シ得共伊豆守妻籠ニ清迎ニ出留守ナリ信忠

大ニ清立腹有九兵衛様ニ逆心斗リ申上伊豆守右ノ誤ラ聞リ

早々城ニ歸リ信忠ノ勢ト戦不叶降参後高六百貫ニ下條ノ

城ニ居ル家臣其外近在ノ者大勢討死ナリ九兵衛ハ忠臣者ト

ナリ清供ニ石連伊奈郡ノ案内致サセ高遠ニテ清成敗アル

下条兵庫頭信保

若名ハ牛千代ト云

慶長十年 家康公ハ背キ駿府ニテ清成敗ナリ

同年村上左馬次郎義清ノ三男 家康公侍取立ニテ高岩

ニテ下條ノ城ニ居住

村上源左門義保 同源五郎清辰

元和元年大坂ニテ 家康公ノ 上意ニ背キ没收

一竹作 高五拾九石五斗五升

一ア千分 高四拾七石六斗九升

一山田河内 高四拾石九斗五升

一親田 高九拾石七斗六升

一粒良狼 高三拾石七斗三升

一入野 高百七拾七石八斗六升

一徳西野 高五拾七石七斗

一浅野 高五拾石四斗

一新井 高百拾七石五斗九升

一門原 高百七拾四石六斗四升

一雲雀沼 高百廿石八斗五升

一山中尾 高五拾七石七升

一栗野 高百八拾石七斗九升 下条家匠作、本日向住

一能登原 高三拾石七斗四升 下条監物伴至与子討ニス

一田上 高百八石五斗三升

一井戸 高五拾八石六斗九升

一口世田 高四拾石三斗五升

一源又 高四拾石七斗

- 一 和知聖 高七拾七石六斗九升
 - 一 千木 高四石九斗
 - 一 大木次 高八拾石七斗七升
 - 一 大久保 高四石七斗七升
 - 一 中谷 高五拾石七斗七升
 - 一 河内 高五拾石八斗四升
 - 一 大平 高八拾石七斗四升
 - 一 新聖 高五石七斗七升
 - 一 大丹少聖 高七拾石七斗七升
 - 一 神子石 高五拾石七斗
- 天文三年平家ノ末流ノ於君文信ノ新聖居住
 関遠江守盛春 同若狭守盛國

同帶刀 盛保 関金田方家ニ入ル関左近進
 天正十年下条ニテ兩家共ニ討死金田右馬進

- 一 吉岡 高六拾石七斗八升
- 一 二王宮 高五拾石九斗七升
- 一 菅野 高百廿四石七斗
- 一 仿中系 高百廿石九斗七升
- 一 御士林 文左衛門 三拾石八斗七升
- 一 大麻倉 高七石七斗九升
- 一 向方 高七拾石六斗三升
- 一 賣方 高五拾石九斗七升
- 一 和合 高六拾石五斗三升
- 一 日吉 高拾四石五斗三升

一根羽 高百廿七石三斗四升 六ヶ村ノ内ナリ枝村ノ内ナリ

一田嶋 高百廿七石三斗四升 十石村ノ内

一新井 高百廿七石三斗四升 右ノヶ村根羽ノ内ナリ同傳換地ナリ

御土石原但馬 三ヶ村ノ内下条工屋ス

松路峠波原峠 右三ヶ外ノ境ナリ

一平谷 高七拾石三斗五升右三ヶノ國境ナリ今信濃長祿

三年武藏國ノ住人熊谷次郎直真十二代孫高百五拾貫領ス
居住三ヶノ將ナリ

一熊谷 九近進直光 二同武藏守家直

三同左京亮直政 四同上総介直保

五同石見守直親 六同玄蕃允直玄

同平谷玄蕃直政 在名ヲ以家名トス

三百貫領ス石三直千貳百八拾石トナル

天正十年信忠討入ノ時下条ノ下條ノ城ヲ討死子息亮三末ノ市

右工門民家ニ変ル

一坂邊 高四拾八石三斗三升

一常川 高拾石三斗七升

一福富 高七拾石三斗三升

一松嶋 高五拾石七斗五升

一波合 高五拾石五斗五升

兼久三年平家ノ士千葉ノ助重齊四代ノ孫高百貫領ス波合
ニ居住五拾石ナリ

原子九郎齊勝 同子四郎齊重

同子三玄末 同柙ノ助

同小三郎 同出羽守

同對馬也

同對馬也

同彈正忠

甲兵、属ス高ト百貫領ス

同七郎

長子ハ少松系ニテ高ト百貫領ス

同信前也

高ト百貫領ス居住

元龜二年信玄公ノ志ニ依リ以原彈正ノ二男ニ波合ニテ七郎集
長子少男故波合領ノ内ニ百貫分ルカ松系ニ居住魚信前也高
ヲ以家苗トス

波合信前也齋成

兄ノ跡ヲ立ル

天正三年長篠合戦ニ討死信前也武功ニ依テ百貫加増

原万五郎赤保

高ト百貫領ス

同十年下条伴豆磨ヨリカニ下条ニテ討死長子八郎民家ニ交ル波合
曾孫信前也川中島合戦ニ武功有テ百貫加増合テ六百貫為石

七百廿余石トスル

一 小松屋

高ト百廿四石ハ斗五升

元龜二年原七郎ニ寄齋秋長子武百貫領ニ居住

魚新七郎赤定

高ト百貫領ス

同市ノ丞赤末 永ニ百貫高石千三百五拾石

天正十年信忠討入ノ時下条ト力討死

一 大平

高ト百拾三石ト斗五升

一 小條

高ト百九拾八石ト斗三升

一 大穴深

高ト百拾石ト斗五升

一 大鳴

高ト百拾石ト斗五升

一 忍所

高ト百拾石ト斗五升

一 鴨目

高ト百拾石ト斗五升

- 一 梅田 高百石石六斗七升
- 一 上栗原 高百石石八斗九升
- 一 栗原折 高百八石石三斗三升
- 一 河内 高七拾石石七斗九升
- 一 合原 高三百石石三斗九升

南 山庄

- 一 下村 高百石石五斗五升
 - 一 東村 高百五拾石石三斗五升
 - 一 阿座野 高拾石石五斗五升
 - 一 荻坪 高七拾石石九斗八升
 - 一 城村 高百三拾石石三斗八升
- 慶長六年大草領主高百石石三斗入城大草知行内
- 右ハ今田村ノ十名ナリ

井上渡洛与國光 今田頼母之進國利 寛永十四年 没収

- 一 安土 高百拾石石三斗五升
 - 一 小科 高百拾石石三斗七升
 - 一 雲母 高百拾石石三斗七升
 - 一 石村 高百拾石石五斗七升
 - 一 尾林 高百拾石石三斗七升
 - 一 大屋敷 高百拾石石三斗九升
 - 一 田力 高百拾石石三斗七升
 - 一 大郡 高百七拾石石三斗七升
 - 一 折浜 高百拾石石三斗三升
 - 一 田輪 高十八石石五斗五升
 - 一 方野 高廿五石石三斗五升
- 折浜 折浜村
方野 方野村

- 一 嶽不取村 高十八石或斗五升 右日以
- 一 新聖 高百石或斗七石五升 右日以
- 一 重聖 高百石或斗七石六斗三升 右日以
- 一 傘 高百石或斗五石三斗九升 右日以
- 一 芋平 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 米為 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 聖池 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 香田 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 言所 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 米川 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 法名寺 高百石或斗五石三斗三升 右日以

枝村 松名保 毛呂名保 八尋倉 大香田 右ノ内ニ

- 一 平聖 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 平嶋田 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 門崎 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 悪所 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 右京 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 野尾 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 田代 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 大畑 高百石或斗五石三斗三升 右日以
- 一 麻科 高百石或斗五石三斗三升 右日以

大南山 七ヶ村

一 温田 言七拾五石斗三升

一 矢平野 高拾五石斗三升

一 法作野 高拾五石斗三升

右何茂慶長より青表等法作地ニ

遠山庄 六ヶ村

一 上村 言百七拾九石八斗三升

一 本澤 高百八拾八石八斗三升

一 糸田 高百拾三石斗三升 下糸田、言廿三

文永三年強奪控五郎景政十六代孫言三百廿文所ニ
陳多ク連居位則立名を家名トス

遠山藏人政信 同上総介景信

曰 土作古景保 曰 源正忠政保

曰 大和古政辰 曰 土作古景辰

曰 左衛門督景久 曰 土作古景親

曰 土作古政善 曰 土作古政康 本庄

曰 源五郎政景 曰 土作古景晴 遠山

元和三年に下系勤ノ歸リ百姓共待請大河原落合ニ石三リ
張土作古リ討取依リ家名遠山領初永三百廿弘治
二年武田上頼ス言千廿領ス尚石ニ直ニ三千五百石ニテ天和元年
家康公より上穂ニテ千石給リ合テ四千五百石ニテ遠山没収
後序料下トナル土作守源古郎民家ニ文ル

一 八重河内 言百拾八石八斗九升

一 嵐河原宅哉共相原崎畑 和四

一 鶯巣 高百拾九石八斗三升

一 満崙 高五石三斗五升

右ハ慶長六年青表紙傳換地ヨリ

傳換地覚

一天正十年年永銭直石下成信玄公傳差圖ヨリ

家康公傳家臣菅沼大膳正大久保孫十郎成瀬吉右門右

三人傳奉行伊奈郡永高四万八千貫布石直三万八千五百五斗三石

ト九城田方壹石三斗代知方壹石代

一 慶長六年青表紙ノ傳國繪圖傳換地秀吉公ノ傳差圖ヨリ

家康公ノ傳家臣菅沼大膳正大久保七郎右エ門傳奉行伊奈

惣高ノ九万三千五斗三石三斗之上中下三段積リハ壹石四方ノ箱

二水五升入土五升入此カワキ換ニテ上中下傳定有ル但シ名切ニ

傳換地奉行衆中 家康公傳前ニテ下ノ百姓ト引合申間敷

ト誓紙ヲ其遊依々民家ト傳付無ク聖途ニ傳泊則一面ノ刻ノ

傳換地傳除ニ届ノ場下誓紙傳神左口神ヲ奉祭田方

ハ壹石三斗ヨリ上壹石五斗迄畑方ハ壹石ヨリ壹石三斗迄右ノ通

傳換地ナリ

一 寛永十二年服坂澆路与傳換地ハ家来宛中

弁藤善左エ門

地方奉行

落合介右エ門

上中下三段ノ積リハ土見トシテ弁藤善左郎及之定有テハ

田畑共ニ上ハ傳換地ナリ

傳支配傳代官附

一 寛文十二年ヨリ

天羽七右エ門 片桐所傳陳卷

一 延宝七年ヨリ 設樂源右左 松山左左陣を
 一 同 七年ヨリ 日 右左東 日下
 一 天和三年ヨリ 天羽 七右工門 十原平右左を記 飯宮左左陣を
 一 元禄四年ヨリ 右田 左左迫 日下
 一 日 十二年ヨリ 高谷 左左衛 日下
 一 正徳三年ヨリ 都籠 小三郎 日下
 一 享保二年ヨリ 鈴本 左左十郎 日下
 一 日 七年ヨリ 増田 大平 今田左左陣を
 一 日 八年ヨリ 大草 左左左左 左左左左 飯宮左左陣を
 一 日 十四年ヨリ 日 甚 左左左左 日下
 一 日 十八年ヨリ 松原 左左左左 日下
 大草 左左左左 日下

一 寛保二年ヨリ 山本 平八 塩尻左左陣を
 一 日 三年ヨリ 大草 左左左左 飯宮左左陣を
 一 寛延元年ヨリ 浅岡 左左四郎 神所左左陣を
 一 日 三年ヨリ 寫 三郎 左左東門 右ヨリ
 一 宝暦二年ヨリ 布衣 左左市郎 右ヨリ
 此根元祀ハ慶長六年御村傳改傳國籍宗ノ字ナリ伊奈御村
 帳ハ元禄十三年序意ヲ受飯田ノ城ニテ他レ伊奈傳記伊奈
 時代祀ハ則御村帳ナリ名ノ相違斗信濃傳記ハ朝日
 壽永斎ハ元下条伊豆守家臣朝日清介ト云者之下条ヲ逐電
 シ 家康公ニ侍奉公申上立身有之

大德... 丁卯... 八

... 丁卯... 八

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

丁卯

丁卯

